

株式会社エディオン 2020年3月期  
第3四半期 決算補足資料



2020年02月04日

百万円・%	2018年度3Q			2019年度3Q				対計画差額
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	増減	
売上高	100.0	539,633	104.7	100.0	568,106	105.3	+28,472	△9,738
売上総利益	29.4	158,755	105.3	28.9	164,146	103.4	+5,390	△4,154
販売管理費	26.7	144,256	104.9	27.1	154,063	106.8	+9,806	△294
営業利益	2.7	14,499	109.4	1.8	10,083	△30.5	△4,415	△3,859
経常利益	2.8	15,189	110.8	2.0	11,389	△25.0	△3,799	△3,921
四半期純利益	1.8	9,656	109.2	1.8	9,931	102.9	+274	△2,401

## ●売上高

- ・上期は大型出店や増税駆け込み需要により443億円の増収となったが、第3Qは増税の反動減と暖冬が重なって159億円の減収となり第3Q累計では284億円の増収に留まった
- ・対計画比でも、想定外の暖冬であったこと等で97億円のマイナスとなった

## ●売上総利益

- ・第3Qは売上の減少に伴い減少、第3Q累計で53億円の増益。売上総利益率は28.9%で、計画の29.1%を下回った(詳細は次頁)

## ●販売管理費

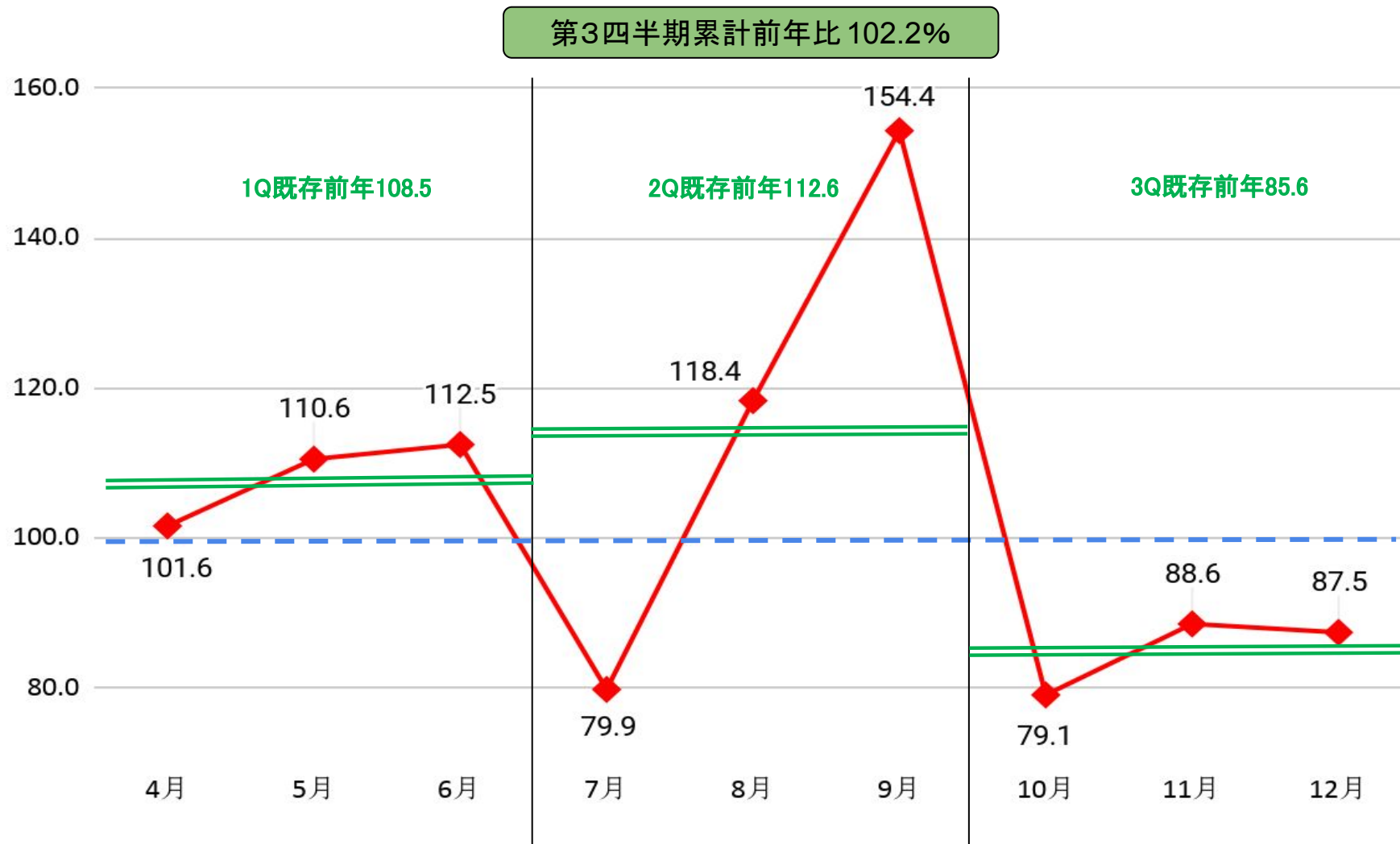
- ・前年からは98億円の増加であるが、計画に対しては3億円のマイナスで計画内(詳細は次頁)

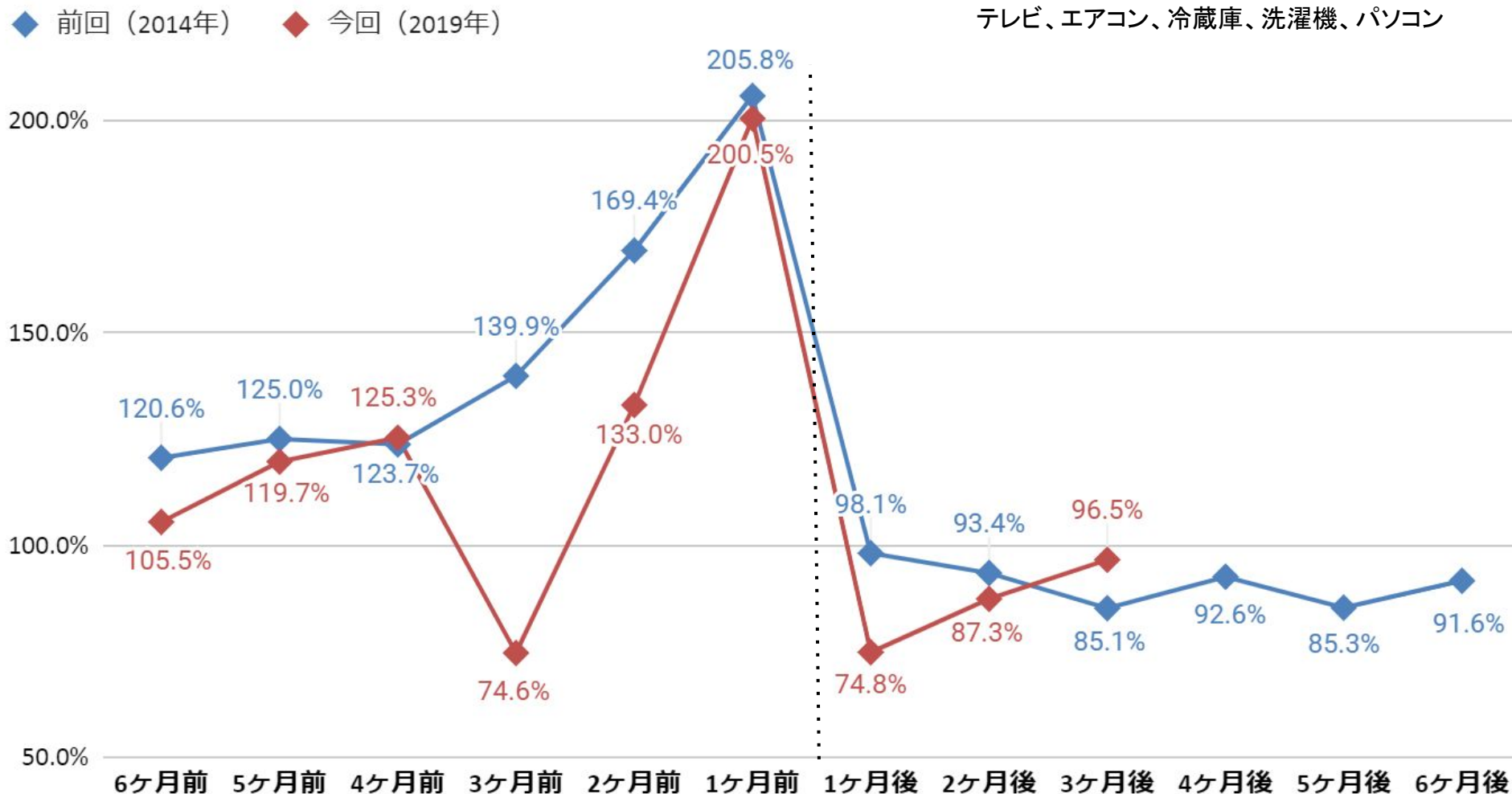
## ●四半期純利益

- ・第3Qにおいて、課徴金取消に伴う還付金10億円の特別利益への計上があったこと等で増益となった
- ・計画に対しては24億円のマイナスとなった

## 直営既存店 受注前年比 推移

(%) ※POSベース推移





## 直営店 主要商品 受注前年比 推移

(%)

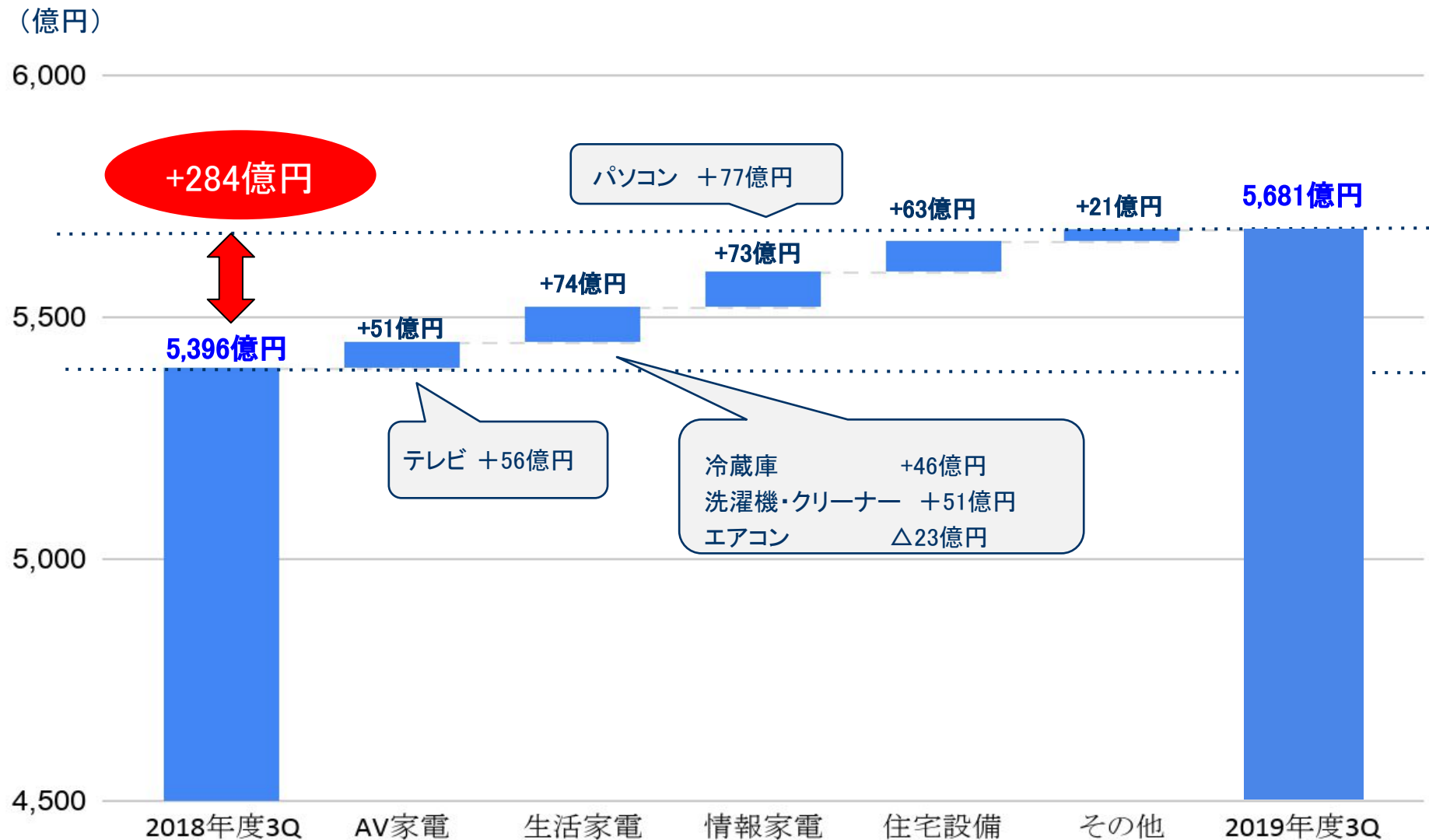
商品名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	2Q 累計	10月	11月	12月	3Q 累計
テレビ	103.3	105.8	127.2	126.4	140.9	196.2	135.9	86.4	86.4	87.9	116.5
エアコン	109.0	123.0	122.5	52.6	152.2	190.7	102.0	60.5	58.3	79.5	95.6
冷蔵庫	103.9	115.2	120.9	81.6	115.3	207.5	121.2	69.6	89.4	86.3	110.9
洗濯機	106.2	140.5	126.1	98.9	122.6	194.2	131.3	77.6	95.1	93.3	117.5
パソコン	103.9	106.4	141.2	122.1	127.1	217.0	136.5	79.9	126.7	142.8	131.1
リフォーム	112.4	121.2	133.8	137.4	127.8	114.0	124.4	105.9	102.3	90.6	115.2
オール電化	119.8	120.7	127.7	117.0	131.5	138.1	126.4	95.5	98.9	90.7	113.6

冷夏

暖冬

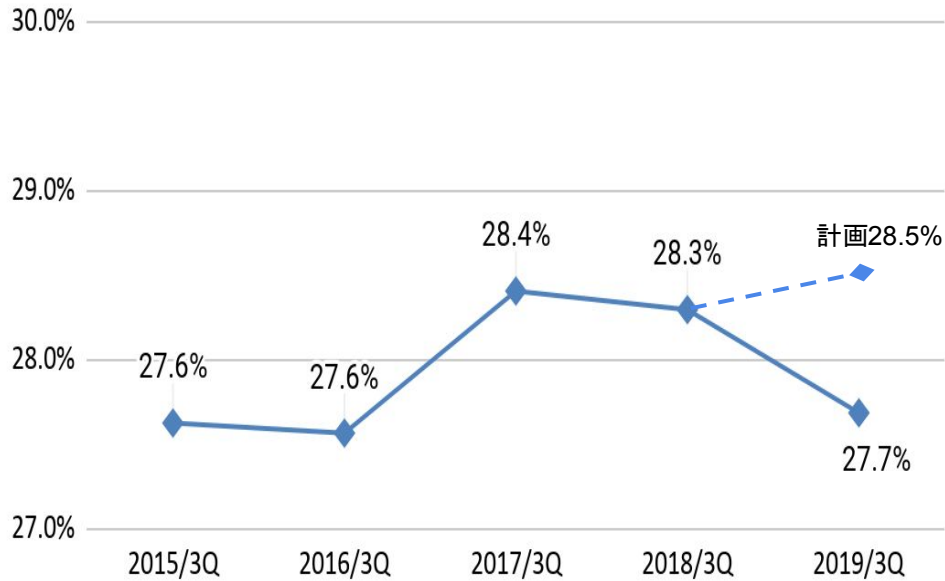
Windows10買替需要

次世代住宅ポイントの下支え

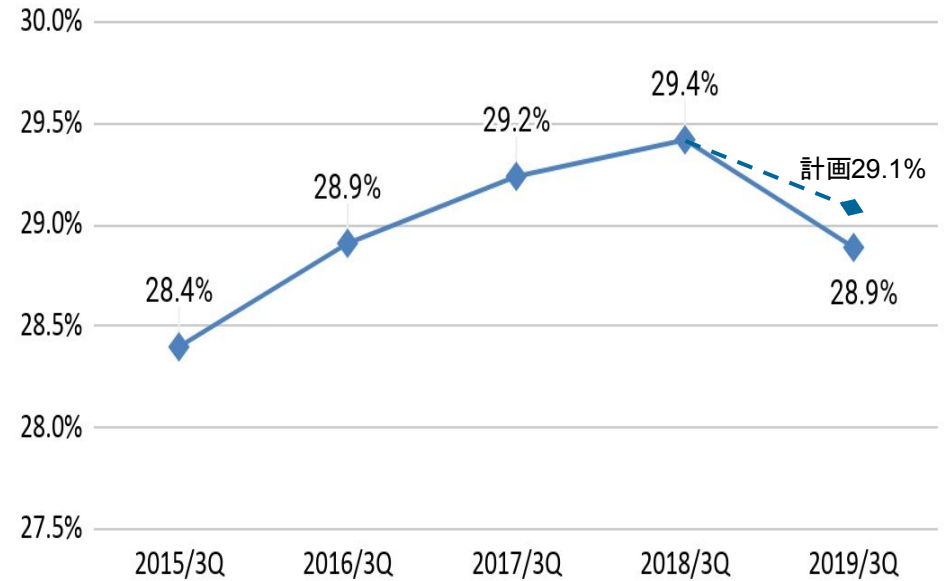


## 直近5年間の第3四半期粗利率(%)

3Q粗利率(10-12月)



3Q累計粗利率(4-12月)



- 想定外の暖冬によりエアコンの構成比が下がり、またWindows7のサポート終了に伴い、想定外にパソコンの構成比が上がったことで粗利率が低下
- 粗利ミックスの影響は、3Q $\Delta$ 0.2%、3Q累計 $\Delta$ 0.3%
- 消費増税後の反動や暖冬のマイナス影響はあるが、業界全体としては価格競争もなく堅調

百万円	2018年度3Q		2019年度3Q		下期修正 累計計画	下期修正 計画増減
	累計実績	累計実績	前年増減	(内なんば、広島 の増加分)		
販売管理費合計	144,256	154,063	+9,806	(+6,495)	154,357	△294
広告宣伝費 ・販売費	41,756	47,199	+5,443	(+2,002)	47,586	△387
(内ポイント販促費)	(6,855)	(11,730)	(+4,874)	(+528)	(12,104)	(△373)
人件費	57,930	58,855	+924	(+1,078)	58,715	+139
設備費 ・管理費	37,426	39,768	+2,341	(+2,568)	39,767	+1
減価償却費	7,143	8,240	+1,096	(+846)	8,288	△47

- 広告宣伝費・販売費は、なんば本店、広島本店の増加を除くと、主に4～6月の積極的ポイント施策によりポイント販促費が前年から増加
- 広告宣伝費・販売費は、ポイント販促費も含めて、計画内で推移
- 人件費は、主に人員増による給与の増加で前年から増加したが、概ね計画線で着地
- 設備費・管理費は、なんば、広島と第3Qの新規出店を主因として前年から増加したが、計画通り
- 全体として、経費は計画内に収まった(※上期を実績に置き換えているため、下期修正計画増減は3Qのみの差額)



百万円	2018年度3Q		2019年度3Q			
	実績	実績	前年増減	(内なんば、広島 の増加分)	下期修正計画	下期修正 計画増減
販売管理費合計	49,141	48,130	△1,011	(+1,610)	48,424	△294
広告宣伝費 ・販売費	14,829	12,822	△2,007	(+308)	13,209	△387
(内ポイント販促費)	(2,731)	(2,152)	(△579)	(+98)	(2,526)	(△373)
人件費	19,338	19,365	+26	(+386)	19,225	+139
設備費 ・管理費	12,493	13,084	+590	(+552)	13,083	+1
減価償却費	2,479	2,857	+378	(+364)	2,905	△47

- 広告宣伝費・販売費は、チラシの回数やサイズの見直し、デジタルチラシの活用などで前年から20億円の削減
- ポイント販促費も抑制し、前年から約6億円削減し、計画からも約4億円の削減に成功
- 人件費は、人員の増加により若干増加したものの、前年の水準を維持
- 設備費・管理費と減価償却費は、計画通りとなった
- 全体として、なんば、広島が増加が16億円あったものの、前年から10億円削減し、下期修正計画からも約3億円下回った

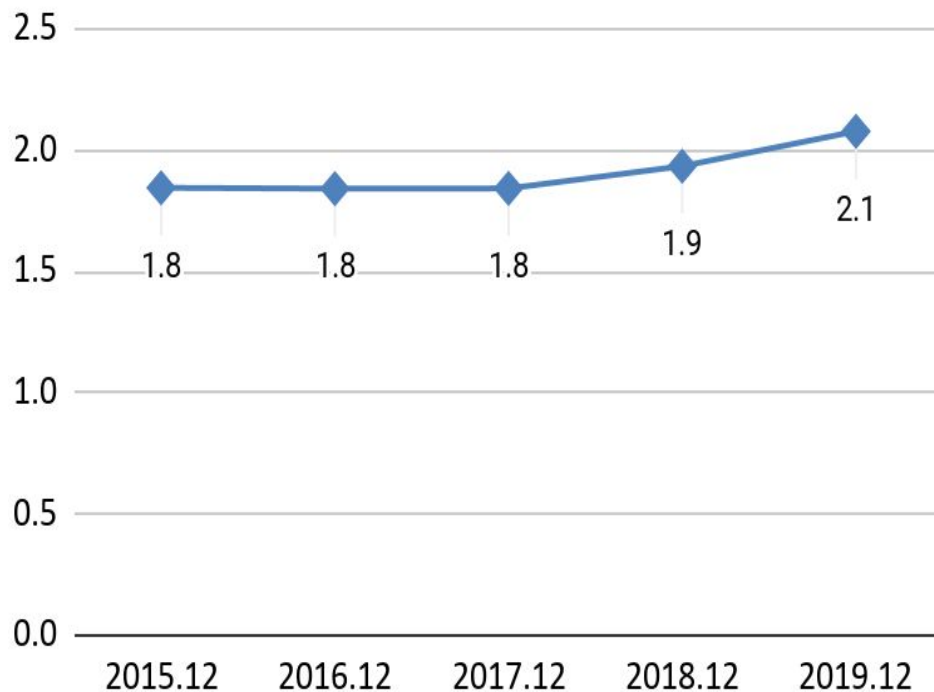
百万円	2018年12月	2019年3月	2019年12月	前期末比	前年同期比
流動資産	153,515	152,436	164,058	+11,622	+10,543
現預金	7,037	9,035	8,988	△46	+1,951
売掛金	27,997	36,339	36,780	+441	+8,783
たな卸資産	103,391	96,686	108,043	+11,356	+4,651
固定資産	203,237	203,511	208,555	+5,043	+5,317
有形固定資産	145,011	139,970	141,156	+1,186	△3,854
無形固定資産	8,102	8,202	10,601	+2,398	+2,498
投資その他	50,123	55,337	56,797	+1,459	+6,674
総資産	356,752	355,947	372,613	+16,666	+15,861
たな卸資産回転数／年	6.4	6.9	7.4	+0.5	+1.0
総資産回転数／年	1.9	2.0	2.1	+0.1	+0.2

- たな卸資産：年末夏商戦に向けて在庫を積み増し、暖冬による影響もあったが回転数は改善
- 無形固定資産：(株)ジェイトップ、夢見る(株)の取得により、のれんが増加

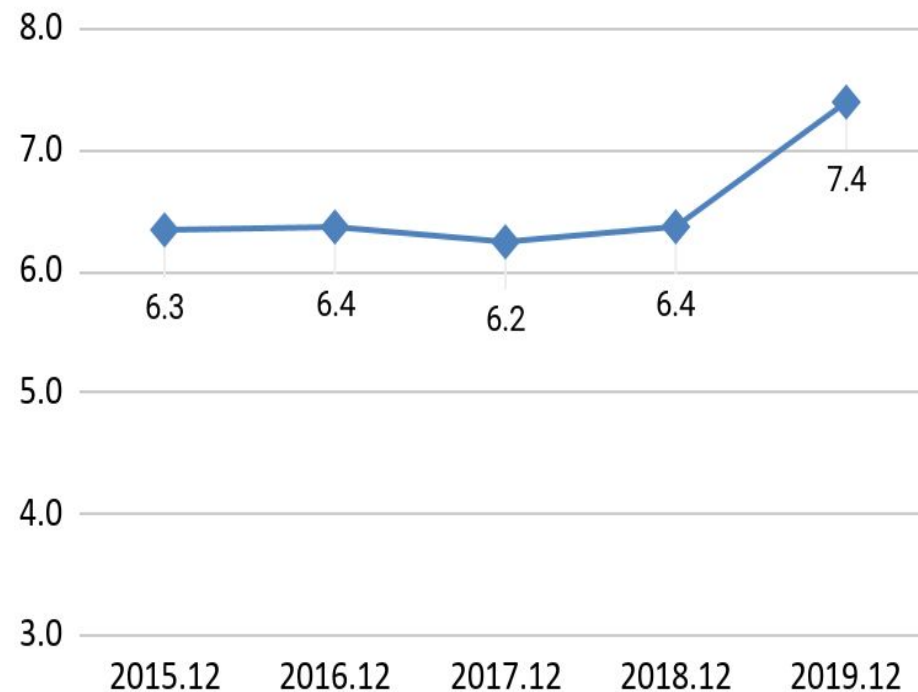
百万円	2018年12月	2019年3月	2019年12月	前期末比	前年同期比
負債	205,785	177,775	193,385	+15,609	△12,400
買掛金	41,115	31,139	58,228	+27,088	+17,113
短期借入金	3,000	1,040	1,000	△40	△2,000
長期借入金・社債	91,618	59,594	59,181	△413	△32,437
リース債務	2,639	2,100	2,426	+326	△212
有利子負債残高	97,258	62,734	62,608	△126	△34,650
有利子負債依存度	27.3%	17.6%	16.8%	△0.8%	△10.5%
純資産	150,967	178,172	179,228	+1,056	+28,261
自己資本	150,967	178,172	179,228	+1,056	+28,261
自己資本比率	42.3%	50.1%	48.1%	△2.0%	+5.8%
フリーCF	+15,106	—	+9,922	—	△5,184
営業活動CF	24,592	—	22,993	—	△1,599
投資活動CF	△9,486	—	△13,070	—	△3,584

- 買掛金：主に年末商戦による増加
- 有利子負債依存度：目標の30%以下を継続達成
- 自己資本比率：目標の40%以上を継続達成

総資産回転数



たな卸資産回転数



## ● 総資産回転数

・2017年第3四半期以降順調に回復、2%を上回った

## ● たな卸資産回転数

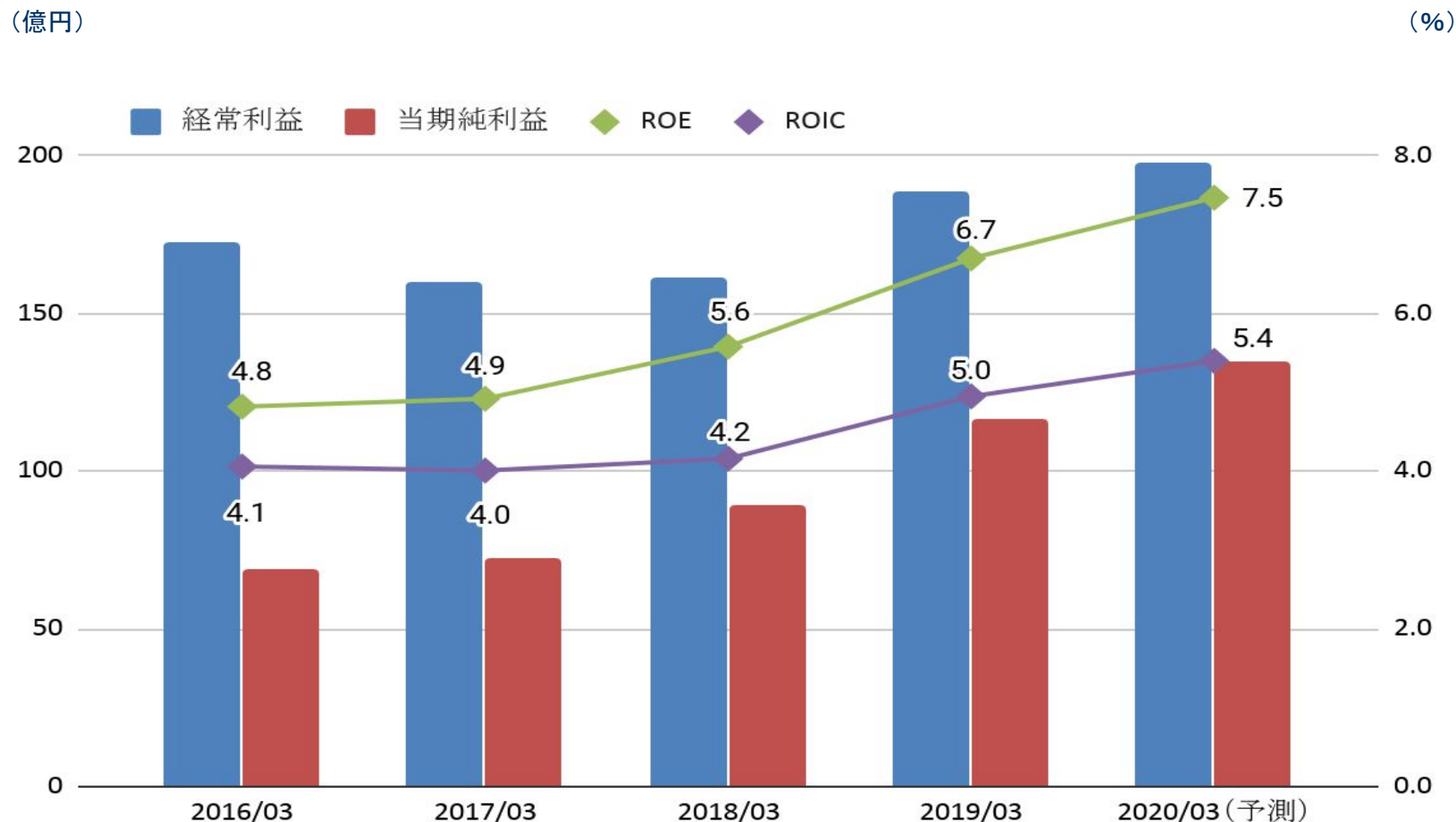
・たな卸資産は増加したが、売上高も伸長し、前年同期から大きく改善した

## 店舗数増減実績（2019年4月～2019年12月）

	2019年3月	新設	移転 ・建替	閉鎖	増減	2019年12月
家電店	395	6	3	5	+1	396
非家電店	41	1	0	5	△4	37
直営店計	436	7	3	10	±0	433
FC店	755	6	0	3	+3	758
全店計 (FC含む)	1,191	9	1	6	+3	1,191
直営店 売場面積(m <sup>2</sup> )	1,038,617	+36,096		△19,354	+7,083	1,055,360

非家電店…携帯電話専門店、ソフト専門店等

- なんば本店(新設+13,481m<sup>2</sup>) 広島本店(建替+4,876m<sup>2</sup>)により、1Qで1.8%床面積増加
- 第3四半期は4店の新規出店により、約7,900m<sup>2</sup>増加



※繰延税金資産の影響を除外: 2016/03年△9億円、2017/03+58億円

※計算式: ROE = 当期純利益 ÷ 平均株主資本 ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) ÷ (有利子負債 + 株主資本)

## 【10月】

- ・PUDOステーション設置(10/31～)

## 【11月】

- ・J-Coin Pay 取扱開始(11/6～)
- ・(株)ジェイトップを完全子会社化(11/13)
- ・イオン上田店、新規出店(11/15)
- ・イオンタウン各務ヶ原鶴沼店、新規出店(11/22)
- ・ブルメールHAT神戸店、新規出店(11/29)

## 【12月】

- ・dポイント+最大30倍還元キャンペーン(12/2～1/6)
- ・洛北阪急スクエア店、新規出店(12/6)
- ・亀岡店、移転オープン(12/13)
- ・夢見る(株)を完全子会社化(12/23)

## 【主なリリース】

- ・10/01 プロテニスプレーヤー 二宮真琴選手との所属契約締結のお知らせ
- ・10/04 公正取引委員会による審決についてのお知らせ
- ・11/01 審決取消の請求について
- ・11/20 森林保全活動実施のお知らせ ～吉野フォレスト活動「元気森・MORI in 吉野山」～
- ・11/29 「全国一斉クリーン活動」実施のお知らせ～全国約490拠点の周辺道路などを清掃しました～
- ・12/06 AI自動査定によるスマートフォン買取りサービス開始について
- ・12/20 エディオンロボットアカデミー星ヶ丘校の開校について

- ・本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- ・本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われないうお願いいたします。